

検討事項の整理

<検討事項1>

20食品群を選定した考え方を現時点で変更するのか

<検討事項2>

義務化対象品目だけ、原料原産地表示すればよいのか

<検討事項3>

今後、原料原産地表示の対象品目選定要件を見直す場合の検討事項・課題等

- 直ちに新たな考え方を導入するのは難しいのではないか
- 20食品群を選定した考え方にに基づき、製造・流通の実態の変化を踏まえた対象品目の見直しをすることができるのではないか
- 実行可能性に問題がある品目を、表示義務対象とするには無理がある
 - ・ 複数の原産国原料の切り替え
 - ・ 輸入された中間加工品
- 消費者に知る権利があるが、すべてに義務表示を行うことは困難
- 事業者による情報開示など消費者に誤解を与えない情報提供が必要

今回の義務化対象品目の見直しの考え方

任意表示の推進

今後の課題の整理